

シールド工事など都市部での地下工事関連事故を回避！ 圧倒的な実績を誇るジオ・サーチにお任せください。

昨今頻発している、都市部の地下工事に関連する事故は、交通のみではなく、沿道の事業者、住民へも影響を与える大きな社会問題に発展しかねません。企業は「事故防止」、また、「企業防衛」の観点からの地下リスクのマネジメントが求められています。



当社が持つ世界最高の地下可視化技術は、道路下の空洞の有無、その位置と規模を高い精度で検知、診断するものです。まず、工事前に地下掘削工事影響を非破壊技術で調査し、路面下空洞の有無、その位置と規模を診断し、初期カルテを作成します。その後、施工中、施工後にモニタリング調査を実施することで、路面下空洞の新規発生や成長など、路面陥没に繋がるリスクを早期診断（事故防止）します。また、調査診断結果は工事と事故の因果関係のエビデンス（企業防衛）としても活用することが可能です。

国内の技術コンペ（精度の高さは <https://www.geosearch.co.jp/competition/> を参照）で示された国内最高の技術力で、シールド工事、推進工事の施工前の初期診断、施工中、施工後にモニタリング診断にこれまで数多く応えて来ました。**これまでに、国や自治体、大手ゼネコンなどから190件以上の業務を受注しています。昨年度は、大手ゼネコンから16件の業務を行いました。**

【参考】国土交通省近畿地方整備局は、シールド工事による路面陥没事故の防止のため、学識経験者及び占用事業者を交えた「シールド工事等に伴う道路占用許可条件検討委員会」を設立し、路面陥没原因及び陥没のメカニズムを分析するとともに、適切な施工管理や事後監視の在り方について検討を行い、「シールド工事占用許可条件と解説（案）」としてとりまとめています。本案においても、シールド工事占用許可条件として事前事後の空洞調査が求められています。

https://www-1.kkr.mlit.go.jp/road/shinsei/dourosenyou/copy_of_dorokoji08.html

－お問い合わせ－

電話:03-5710-0200（代表）

メールによる問い合わせ